

水防関係訓練

津波・高潮・洪水・ゲリラ豪雨など、あらゆる水防対策の基礎となる「ロープワーク」(ひもの結び方)について、四国地方防災エキスパートの方に実演を交えて、教えていただきました。

日本における「ロープワーク」は、その伝統美・伝統技として数々の工夫がなされ、さまざまな形が考案されており、数ある中から「ほんむすび」、「かみくくし」、「もやいむすび」、「かみくくし」を応用した「避難ロープ」等についての講義を受け、参加者は何度もロープを手に練習していました。

「ロープワーク」では①迅速に、②簡単に、③確実に が基本となります。

災害時、短時間で確実に結べないと効果が発揮できないため、日頃から練習し自然と手が動くようになるまで、練習してもらえたらと考えます。

また、その他に防災上参考となる簡易的な土嚢作りや、ペットボトルの活用術についても教えていただき大変参考になりました。



訓練風景



「避難ロープ」の実演

ロープワークの3原則

- ① 迅速** より早く結べること
- ② 簡単** 複雑な手順がなく、覚えやすいこと
- ③ 確実** しっかりと結束でき、なかなかほどけないこと

「ロープワークハンドブック」(徳島河川国道事務所発行)より

かみくくし

【バリエーション】(柱など縦かまの場面)
縦ロープが下側になるよう1つ目の輪を作り、左手に持つ。

【バリエーション】(柱など中央部での場面)
上からロープを1回巻き付け、縦ロープを×状に交差させる。

【バリエーション】(柱など中央部での場面)
縦ロープをも1回巻き付け、

続けて同じように2つ目の輪を作り、右手に持つ。

縦ロープを交差した斜めロープの下をくぐらせ、縦ロープに平行になるように通す。

左手の輪(1つ目)を上、右手の輪(2つ目)が下になるよう重ね、二重になったロープを横の上から通す。

両ひもを両側に引いて締める。

【完成状態】

両ロープを両側に引いて締める。

もやい結び

【バリエーション】(柱など縦かまの場面)
縦ロープを柱に1回巻き、

縦ロープを柱に1回巻き、

縦ロープを元ロープに巻き付ける。

巻き付けた縦ロープを強く引く。

縦ロープを強く引くと、それぞれロープが回転して、元ロープは縦向きになり、縦ロープは横の中を通った状態になる。

この結びは縦向きに結び直す必要はないので、最終的に縦向きになっている縦ロープを手前に強く引き、締めること。

【完成状態】

縦の結び止め結びの結になります。また、輪の大きさが結びの輪の幅に合います。

出窓の手すりなど丈夫な所に「ひも結び」でロープを結束する。

【バリエーション】(柱など中央部での場面)
ロープはつれにくい結びかけ方法で束ねる。思い切りよく空中に投げ、

【利用状況】

※本邦内には最近までの防災訓練は、1つ下の階に避難する。

※避難する際は避難経路はロープがつかないよう注意すること。

【バリエーション】(柱など中央部での場面)
ロープはつれにくい結びかけ方法で束ねる。思い切りよく空中に投げ、

【バリエーション】(柱など中央部での場面)
ロープはつれにくい結びかけ方法で束ねる。思い切りよく空中に投げ、

【バリエーション】(柱など中央部での場面)
ロープはつれにくい結びかけ方法で束ねる。思い切りよく空中に投げ、

【バリエーション】(柱など中央部での場面)
ロープはつれにくい結びかけ方法で束ねる。思い切りよく空中に投げ、

【バリエーション】(柱など中央部での場面)
ロープはつれにくい結びかけ方法で束ねる。思い切りよく空中に投げ、

【バリエーション】(柱など中央部での場面)
ロープはつれにくい結びかけ方法で束ねる。思い切りよく空中に投げ、

【バリエーション】(柱など中央部での場面)
ロープはつれにくい結びかけ方法で束ねる。思い切りよく空中に投げ、